

生徒さんのちょっといい話

ここではセミナーでの生徒さんからのお話を紹介しています。

〈さいたま市 Wさん 60代女性〉

「小さい頃から、〈片づけの出来ない子〉と言われ続けていたので、私は片づけができないのだと思ってきましたが、単純にモノが多いことが問題なんだとわかりました。むやみに増やしてきたモノを少しずつ減らしていきたいです。」

〈川口市 Mさん 40代女性〉

「整理を始める時に、種類別にまとめることができていませんでした。同じモノがあちらこちらにしまってあるので、何をどのくらい持っているのかわからず、あるのに買ってしまい、モノをさらに増やしていました。まず、種類別にまとめてみることから始めてみます。」

受講から片づけのレベルアップができたおふたりに拍手です！

「ちゃんとしなきゃ！」をやめたら
二度と

散らからない部屋になりました

見えないところも整理収納編

以前（43号）で紹介した元片づけられない漫画家さんが友人宅を片づけていくコミック本の続編です。

今回は、場所別の片づけ方が描かれているので、片づけたい場所の章を読みながらの同時進行の片づけも楽しめると思います。

著者：なぎまゆ 定価：1,200円（税別）

本の紹介



講座のご案内

○コープカルチャー <ポイントを知ってらくらくお片づけ>

毎月第2木曜日 10:30～12:00 コープカルチャー富士見

○カルチャー講座 <片づけ講座>

9/18 13:10～14:50 無印良品東武動物公園駅前店 学び舎

9/22 10:30～12:00 春日部カルチャー

10/14 10:00～11:30 常盤台カルチャー

10/28 13:00～15:00 ハ柱カルチャー

○蓮田市生涯学習学びま専科 <片づけメソット>

9/18 13:15～15:00 蓼田市中央公民館



○資格認定講座 <整理収納アドバイザー2級認定講座>

9:30～16:30 春日部市民文化会館他

ご希望日で開催しています（オンライン講座もできます）

※詳細、その他は朱夏らいふHPをご覧ください →



朱夏っと日和

～ひとりごと片づけ日記～



パスポートの有効期限がとうに切れているのに、急に話がまとまって、海外旅行に出かけることになった。

この円安の時にあほか！と自分でも思うけど、老いをひしひしと感じている昨今、チャンスがある時に行っておかないとこの先、いつ行けるかわからないので、この話に乗ることに。



大急ぎで、パスポートを取得してESTA（ビザ免除）の申請をして、何とか、出かける準備は整ったけど…。スーツケースを新しくする時間がなかったので、手持ちの古いスーツケースに「最後のお役目をしてもらおう」と呑気に考えて家を出た。

さあ、羽田へ。ところが、途中の乗り換え駅でコロコロ転がしていたら、いきなりキャスターがひとつが回転しなくなった。マズい…。

どこかで新しいスーツケースを買ってもいいかなと思ったけど、その場合、古いスーツケースはどうなる？買った店で処分してくれるの？してくれない場合は？スーツケース処分問題に頭が混乱。

とりあえず、キャスターのご機嫌を取りながら、空港に向かう。搭乗手続きを人任せにしてあるので、待ち合わせ時間まで荷物も預けられない。キャスターに負担をかけたくないで、スタバで時間をつぶす。なので、楽しみにしていた空港探索もできなかったし。



結局、旅先でも処分問題が謎のままだったから何とか3つのキャスターで凌いでこのスーツケースで帰ってきた。空港でもホテルでも「取り扱い注意」で扱ってもらうために諸手続きに時間を取られ、それにも関わらず、乱雑に扱われ、ヒヤヒヤものだったわ。



「買う」より「捨てる」が気になった旅だった。

（お店で聞いてみれば、有料でも引き取ってくれたかもね…）

整理収納 Q & A

・Q 二世代住宅で、今はもういらない親のモノに囲まれて住んでいます。親のモノを捨てるのは罪悪感があって片づけが進みません。

・A 親御さんが大事にしていたモノをスパッと捨てることは難しいですよね。ですが、そのままにしてしまうとさらに次の世代に負担をかけてしまうことになりますから、少し考え方を変えてみることをお勧めします。

例えば、ご自分が親御さんの立場なら、「捨てて！子どもや孫まで面倒をかけたくない」と思うのではないでしょうか。

だったら親御さんもそう思っているのでは？と、自分寄りに考えるのもいいと思います。モノは親御さんが使ったことでその役目を終えている、そんな風に考えてもいいですね。



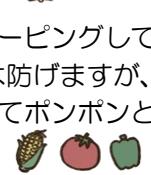
収納のコツ

引き出し収納を活用する場合、収納する段や引き出しの中の前後などにも少し気を配ってみると、収納時の動作数が減り、定位置管理が徹底できます。

食器や食品、洗濯物など、よく使うある程度まとまった数のモノを引き出しに一気に収納する時に、横並びの引き出しを利用すると便利です。



縦で使うと、下の段にモノを入れたい時に一旦上の引き出しをしまう手間がかかります。



モノを収納する前に、引き出し別にモノをグルーピングしておくことでその都度引き出しを引き出す手間は防げますが、最初から、横並びの引き出しを開けたままにしてポンポンとモノを入れる方が簡単です。

また、引き出し内でも、使用頻度の高いモノを手前に置けば、引き出しを全開にしないで、モノの出し入れができます。

ちょっとしたことが、面倒を減らすことにつながります。

引き出し収納

よく使う食器は手前に。引き出しを半分開ければ取り出せる（左）



Tシャツ類は、取り出しやすい段に。日頃用は左に、スポーツ用は右にポンポンと入れる（右）



「自分の好きを知る」ってどういうこと？

世の中には、便利そうなモノ、おしゃれなモノ、お得なモノ、高価なモノなど、色々なモノが溢れていますが、その中で「自分が好きなモノ」を知っておきましょう、という意味です。

「好き」の中には、道具として使い勝手のいいモノも含まれています。それを知ることでも余分なモノが増えることを防げます。

特に欲しかったわけではないのに売り文句に誘われてしまったり、値段が安かったり、または、衝動買いをしてしまったりしたモノなどは、いとも簡単に家に入りますが、意外と使う機会がありません。

モノは、惚れこまないと使いこなせません。家にあっても使っていないモノはそこまで「好きではない」モノ。

まず、それらを処分の対象にするとよいでしょう。

